

ナンバリング	科目名		サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
112AS03	経営学 A		経営学の基礎知識	伊藤 真一	1 年次前期	2
科目区分	基礎	キーワード	経営学, 企業, 経営管理, マネジメント			
ディプロマポリシーとの対応	1. 時代や社会の要請に対応できる能力					
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける					
事前に受講するとよい科目	特になし					
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。					
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス					
講義の目的	経営学は、企業、病院、学校、部活・サークルといったあらゆる組織がいかにして目標を達成できるかを検討する学問である。この講義では経営学の初学者が、経営学の基礎知識を習得することを目的としている。特に現代社会や経営学にも重要な影響をもたらしている研究・概念や、経営学において最も研究蓄積が多く、身近で重要なトピックについて理解する。その上で、実際の現象について理解・説明・分析できる力を身につけることを目的とする。					
到達目標	1. 経営学の特徴を理解する 2. 経営学の基本的な理論を習得する 3. 学習した知識をもとに、実際の組織現象を理解・分析・説明できるようになる					
講義内容	経営学には、「企業の学問」、「社長のための学問」、「金儲けのための学問」といったイメージも存在するが、実際にはあらゆる「組織」(目標達成のために2人以上の人間が協力する存在)がどのように組織の目標を達成することができるかを研究する学問である。この講義では、そのような経営学の目的を解説した上で、経営学の基本的な理論を解説する。また、授業では実際のケースも用いながら、理論的な観点から実際の現象を理解する。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	ガイダンス:経営学とは	講義の受け方や成績評価、経営学とは何か			
	第2講	科学的管理法	タスク管理、差別的出来高給、職能別職長制			
	第3講	科学的管理法の功罪	科学的管理法がもたらしたものと悪影響			
	第4講	ホーソン研究	経営学における心理的・社会的側面の重要性			
	第5講	欲求とモチベーション	モチベーションの定義と欲求理論			
	第6講	小テスト1: 古典経営学	古典経営学についての理解度の確認			
	第7講	ワーク・モチベーション	仕事におけるモチベーションの諸理論			
	第8講	ケース: モチベーション	学習した理論を用いた実際のケースの分析			
	第9講	個人のパーソナリティ	パーソナリティの定義と Big Five モデル			
	第10講	組織とパーソナリティ	パーソナリティを踏まえた組織のマネジメント			
	第11講	グループマネジメント	集団の諸理論とそのマネジメント			
	第12講	ケース: 組織と役割	役割理論とスタンフォード監獄実験			
	第13講	小テスト2: 経営学の基礎	経営学の基礎理論についての理解度の確認			
	第14講	リーダーシップ	リーダーシップの定義と特性論、行動論、状況論			
第15講	ケース: リーダーシップ	学習した理論を用いた実際のケースの分析				
指導方法	講義は、パワーポイントを用いて行い、履修者には穴埋め式のプリントを配布する。講義では、月に1-2回程度、ケース分析をしてもらう。具体的な内容としては実際の組織のケース(資料・映像)を視聴し、講義で説明した理論を用いて分析し、リアクションペーパーを記入してもらう。					
事前学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要である。1時間30分程度の学習時間が目安である。					
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。1時間30分程度の学習時間が目安である。					
成績評価方法	本試験 70% (筆記試験)、平常点 30% (小テスト 15% × 2 回)					
課題(試験・レポート)に対するフィードバックの方法	小テストと本試験は返却しない。小テストについては授業内で解説を行う。					
テキスト	利用しない。					
参考文献	馬場杉夫・蔡仁錫・福原康司・伊藤真一・奥村経世・矢澤清明『マネジメントの航海図』、中央経済社、2015年					
実務家教員による授業		教員	経歴			
特記事項						